



講演 3：絵本の軽度障がい児（者）への応用

（医）おおの小児矯正歯科 杉岡 千津

略 歴

1987年 福岡歯科大学附属歯科衛生専門学校卒業
1988年 （医）おおの小児矯正歯科勤務
2010年 一般社団法人日本小児歯科学会認定歯科衛生士

視覚支援は自閉症スペクトラムのある人が不安や混乱なく予定通りの行動が出来るように情報を提示する方法である。絵本はこのような視覚媒体のひとつで障がい児（者）においては発達年齢が約3歳以上であれば非常に有効な方法である。

今回、絵本の軽度障がい児（者）への応用について症例を通して紹介する。



講演 4：絵本の大人への活用

みすみ歯科医院（山口県宇部市） 三隅 純一

略 歴

1994年 鹿児島大学歯学部卒業
1994年 田中歯科医院（小野田市）勤務
1999年 山口県宇部市にて開業

当院では、子どもの歯科診療のために考案された絵本を大人の歯科恐怖症患者に利用してきた。抜歯などの痛みや緊張を伴う治療に絵本を用いると、大人も童心に戻り和んだコミュニケーションが生まれ、患者の恐怖感は軽減した。

現在では絵本をTooth Contacting Habit（TCH）の動機づけ、顎関節症のセルフケアおよび認知症患者にも利用している。

今回、絵本の大人への歯科診療の利用の可能性について講演する。